

# 森のおくりもの3月



シータテハ（タテハチョウ科）



冬に雪が少なかったためか、乾いた感じのする森に、芽出しの雨が待たれません。鳥たちのさえずりが、日に日に増えてきています。群れで動いていた鳥たちも、ペアに分かれて巣作りを始めます。巣材にするための羽毛やコケをくわえた姿を目にすることも多くなるでしょう。渡りの途中と思われる見なれない鳥を見かけることもあるかもしれません。陽だまりでは小さな生き物たちが動き始めています。花だけでない、様々な春を感じに森へ出かけてみませんか。

【写真・文 早坂 徹】

# 早春の小さな黄色いお花 「ネコノメソウ」の仲間



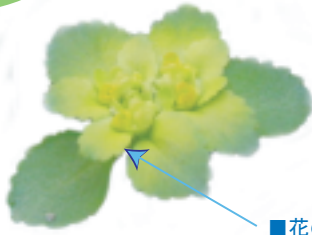
3月になると観察の森では、少し湿った道端にネコノメソウの仲間が咲きはじめます。黄色い小さな花なので、あまり目立ちませんが、まとめて咲いているととてもキレイです。今回は観察の森でよく見られる3種類を紹介します。（小鳥の森では2/22から咲いているヤマネコノメソウを観察することができます。）

## 似ている花



ヤマネコノメソウ

■花びらに見えるものはガクです。ネコノメソウの仲間には、花弁がありません。



ネコノメソウ

■花のまわりの苞も黄色くなるよ



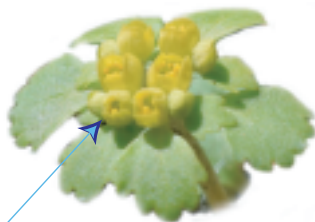
■茎や葉には毛がまばらに生えているよ

## 葉

■葉の付き方が違うよ  
ネコノメソウが対になって生え（対生）  
ヤマネコノメソウは互い違い（互生）になります。



■茎や葉には毛ない



■ガクが立っているので花が四角い感じに見える。花だけきれいな黄色で苞は黄色くならない。

オオコガネネコノメソウ

## たね



■雨水があふれ出て種がこぼれ落ちたり、雨滴にあたって飛び出したりして散布されます。背丈が低いので風で飛ばされることは少ないようです。

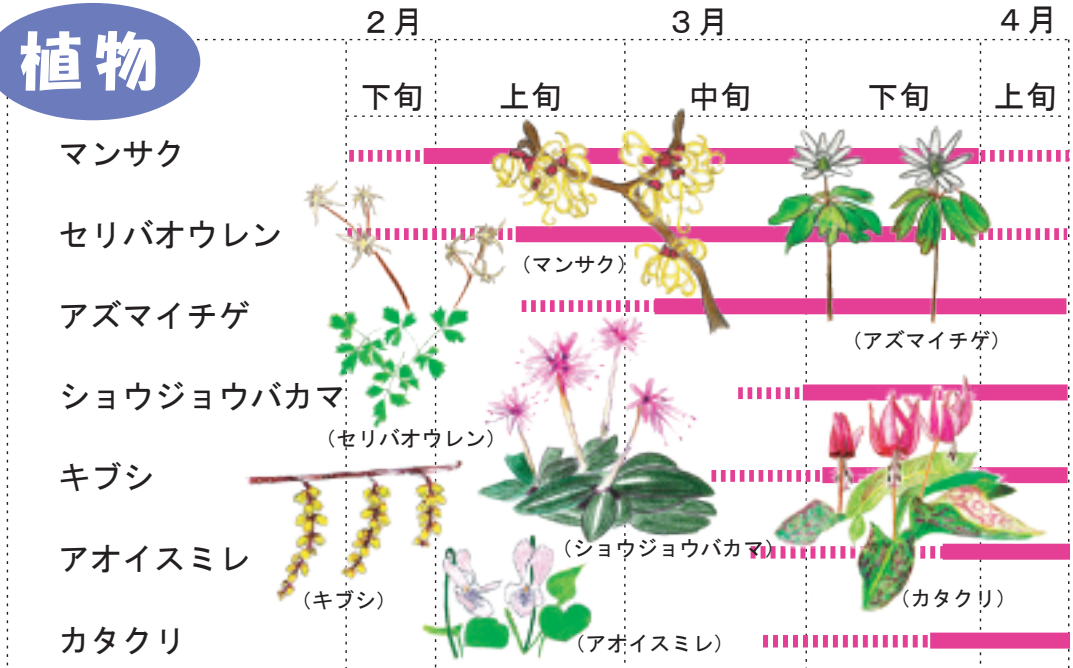
猫の目に見えるかな？

【レンジャー：黒川周子】

\*名前の由来：果実が割れて種が見える様子が、「猫の目」に見えることから

# 3月の生物ごよみ

## 植物

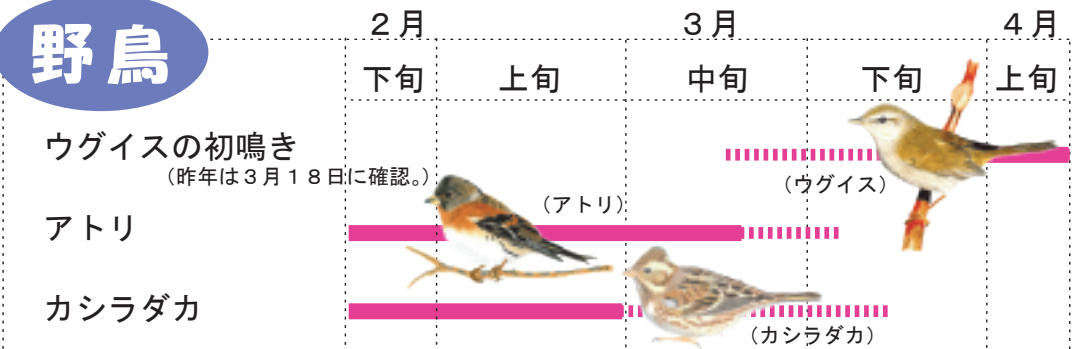


野生動物の生息調査のため、センター内にセンサーカメラをしかけたところ、いろいろな野生動物の画像が写りました。特にノウサギは数年前から足跡や糞が見られなくなり、一時期は全く見られなくなった年もあり心配していました。はっきりした理由はわかりませんが、森全体の様子が変わり、ノウサギには住みづらい環境になってしまったからなのかもしれません。しかし今回ノウサギが写り—安心。全くいなくなったわけではなかったようです。他にはイノシシ、タヌキ、ニホンカモシカ、ニホンリスなどの画像が撮れました。



(2017年2月17日18時11分  
センサーカメラに写ったノウサギ)

## 野鳥



【レンジャー：齋 正宏】



## レンジャーの森の雑記帳



重い回転扉を回すように冬から春へと季節は移り、観察センターから見える風景もモノトーンの世界から淡い色彩が少しずつ増えて来ました。観察センターの裏手には民家の敷地が市道沿いにあり、オオイヌノフグリなどの春を告げる可愛らしい小さな花が咲き、目を楽しませてくれます。そこからは笹川へと降りる木道が続いており、巡回中に何気なく下りてみたところ、驚くほどの至近距離にダイサギが小魚を求めて川に佇たたずんでいました。どうやら獲物を見つけるほうに夢中でありこちらに警戒していないようでした。

できるだけ音を立てないようにカメラを構え数枚撮ってみたのですが、改めてこのダイサギの羽の美しさに見とれてしまいました。その美しさは、春の陽光に反射して、金色に光る婚儀しるむくに立つ白無垢のようでもあり、森の静けさと相まって厳粛な感じさえ受けたのです。



繊細な羽が幾重にも重なり、まるで羽毛の白の渦が巻いているような錯覚すら覚え、羽と胴体の境目が分からないほど緻密な自然の造りに感心させられた一日となりました。



【レンジャー：阿部正明】

実は早春の見所満載！

# 犬樺

春の観察の森で樹木の主役は、マンサクでもキブシでもなくイヌブナだと思います。

何故かという、冬枯れの落葉広葉樹の森でオレンジ色の葉を落とさず着けている姿は、とても綺麗です。かと思えば、その葉をあっという間に落とし、ひときわ大きな芽がオレンジからシルバーそしてグリーンへと、ダイナミックな芽吹きを展開を見せる場所も見応えがあります。そして花もマッチ棒のような雌花とぼんぼりのような雄花、個性的で可愛いです。観察の森では花をつけるイヌブナが少ないのでとても貴重です。

人間の勝手な都合で、残念な名前が付けられたイヌブナですが、「なんだイヌブナかあ」と思わず、この春は是非注目して見て下さい。

- ・ブナ科 落葉高木
- ・東北中部以南の本州、四国、九州に分布。中部地方以北の日本海側に分布しない。
- ・雄花序は枝の基部よりぶら下がり、雌花は上部の葉腋から出た長い柄に2個つく。
- ・葉は互生



オレンジ色



雄花

雌花



芽吹きは4月の中旬ごろ見られます。



イヌブナ



樹皮

暗灰褐色でイボ状



葉

側脈が10から14対ある 株立ちしている

ブナ



灰白色であまり凹凸がない



側脈が7から11対ある 株立ちしない

樹形

【レンジャー：遠藤和子】

# 3月

## のイベント & お知らせ



### ◆おはよう野鳥かんさつ

早春の森を歩き、講師の案内で野鳥の声と姿を探します。講師は日本野鳥の会の千葉孝行氏です。  
 【日 時】3月11日(土) 午前6時半～8時  
 【持ち物】あたたかく歩きやすい服装、観察用具(双眼鏡の貸出あり)  
 ※申込み不要です。開始時刻までに観察センター前までお集まりください。



### ◆講話会「森の歳時記～春の季語をたずねて～」

宮城県俳句協会副幹事長の坂内佳禰氏を講師にお招きしての講話会です。森には春の季語がいっぱいです。春の季語を味わいながら新たな森の魅力を発見してみませんか?  
 【日 時】3月26日(日) 午後1時半～3時半  
 【定 員】40名〔電話受付での先着順〕  
 【持ち物】筆記用具など  
 【申込み】3月7日(火) 午前9時から電話で



### ◆ガイドウォーク「館長と森を歩こう」

【日 時】3月26日(日) 午前10時～11時半 ※申込み不要です。  
 開始時刻までに観察センター前までお集まりください。

### ◆「小鳥のレストラン」終了間近! 3月31日(金)まで。

えさ台に集まる野鳥を、あたたかい部屋の中から観察できます。

### ◆12月から3月まで冬季のガイドウォークは午前1回です。

冬季(12月から3月まで)は午前10時～11時半のみの開催となります。お間違いないようお越し下さい。

毎週日曜は

## 「ガイドウォーク」の日!

テーマ「春を探しに」

3月の開催日は

**5日、12日、19日、26日**です。

開催時間: 午前 10:00～11:30

申し込み不要。時間までセンター前にお集まり下さい。



ヤマツツジの丘からヨシの湿地へ通じる橋が老朽化のため、しばらく通行止めになります。

### 3月の休館日

6日、13日、  
21日、27日



### 宮城交通バスの場合

- ① 釜石台駅 7番のりば 乗車時間 約14分
  - ② 長町駅東口 3番のりば 乗車時間 約20分
  - ③ 八木山動物公園駅 6番のりば 乗車時間 約18分
- (行先) ①②③: 「太白地区白山田山由山ヶ丘車庫行」乗車  
 (※③のみ乗車可: 太白地区白山田山由山ヶ丘ニュータウン行)  
 いずれも豊宮アパート前 下車→徒歩15分

### お車の場合

国道288号線の山田交差点から太白区方面へ。  
 道々の案内板に従って約10分で駐車場へ、徒歩5分でセンター

### ♪森へおいでください♪



自然観察の森の最新情報、「森のおくりもの」  
 バックナンバーはWebでチェック!

「社のひろば」URL: <http://www.sendai-park.or.jp/web/info/taihakusan/index.html>

2017年3月号(毎月1回5日発行)

発行: (公財) 仙台市公園緑地協会

編集: 仙台市太白山自然観察の森 自然観察センター

〒982-0251 仙台市太白区茂庭字生出森東36-63

TEL: 022-244-6115 FAX: 022-244-6133

E-mail: taihakusan\_moushikomi@sendai-green-association.jp